

資料編

①各種会議・ヒアリングの開催結果概要	資 01
②俵ヶ浦半島ミーティングの開催結果概要	資 02
③社会実験イベントの開催結果概要	資 05
④俵ヶ浦半島 課題マップ	資 07
⑤俵ヶ浦半島 資源マップ	資 08
⑥情報発信・PR	資 09

■会議およびイベントの開催日程

日時		開催場所	出席者	会議名	会議内容
2016.4.26	18:00-21:00	野崎町公民館	4 町公民館館長	企画会議①	平成 28 年度の取り組みの進め方とスケジュールについて
2016.7.4	18:00-21:00	野崎町公民館	4 町公民館館長 俵ヶ浦半島開発協議会顧問	企画会議②	聞き取り調査の結果から作成した平成 28 年度の取り組みとスケジュールについて
2016.8.6	15:00-22:00	俵浦小学校体育館	半島全体	第 1 回半島ミーティング	10 年後にどんな半島にしたいかという住民の未来語り、目標の設定、地域地域での聞き取り調査で関心の高かった仕事、観光、教育、住まい、食の 5 テーマ毎に未来の実現、目標達成に向けてやりたいことを話し合った。
2016.8.26	16:00-17:00	佐世保市役所	4 町公民館館長 俵ヶ浦半島開発協議会顧問	開発協議会と佐世保市企画部長との面談	俵ヶ浦半島振興計画及び活性化の取り組みについて説明を行うとともに、つくも苑の観光公園化について要望を行った。
2016.9.4	9:00-14:00	野崎町公民館	伝承会	野崎寿司伝承会	野崎寿司伝承会
2016.9.13	19:00-21:00	野崎町公民館	4 町公民館館長	企画会議③	第 1 回半島ミーティングのまとめについて、俵ヶ浦半島 Times の内容について、コンセプトスローガンとロゴの決定
2016.9.26	17:00-21:00	野崎町公民館	俵ヶ浦半島開発協議会全体	企画会議④	コスモスウォーク、チャレンジショップの内容について
2016.10.12	16:00-18:00	庵浦町公民館	4 町公民館館長	企画会議⑤	コスモスウォークについて、平成 29 年度の計画について
2016.10.16	10:00-15:00	展海峰	半島全体	コスモスウォーク	新コース（俵ヶ浦町歴史遺産トレイル）と社会実験イベント
2016.10.25	19:00-21:00	俵ヶ浦町公民館	俵ヶ浦半島開発協議会役員	企画会議⑥	今後の事業計画等について
2016.12.12	19:00-21:00	俵浦小学校体育館	半島全体	第 2 回半島ミーティング	第 1 回半島ミーティングで語った未来の実現に向けた取り組みについて、トレイル部、ご当地部、住まい部、学校部、PR 部の 5 つの部活を設定し、部活毎に半島で行ってみたい取り組みについて話し合った。
2017.1.4	18:30-21:00	野崎町公民館	4 町公民館館長	企画会議⑦	今後のスケジュール確認、振興計画の進捗及び組織体制について
2017.2.7	19:30-21:30	庵浦町公民館	半島全体	第 3 回半島ミーティング (部活キックオフミーティング)	第 2 回半島ミーティングで設定した 5 つの部活について、事業の目的や目標、事業計画・スケジュール、運営体制について話し合った。
2017.3.15	19:30-21:30	野崎町公民館	半島全体	移住勉強会	振興計画の報告、空き家の活用や移住者の受入に関する勉強会の開催。
2017.3.26	10:00-15:00	展海峰	半島全体	菜の花ウォーク	新コース（野崎町ごちそうトレイル）と社会実験イベント

■聞き取り調査の日程

日時		開催場所	出席者	会議名	会議内容
2016.5.15	10:30-15:00	庵浦町公民館	庵浦町住民	庵浦町村祈祷ヒアリング	俵ヶ浦半島の課題抽出のための聞き取り調査
2016.5.18	15:30-20:00	野崎町公民館	野崎町住民	野崎町ヒアリング	俵ヶ浦半島の課題抽出のための聞き取り調査
2016.5.28	16:00-18:00	俵ヶ浦町公民館	俵ヶ浦町住民	俵ヶ浦町ヒアリング	俵ヶ浦半島の課題抽出のための聞き取り調査
2016.5.28	19:00-21:00	下船越町公民館	下船越町住民	下船越町ヒアリング	俵ヶ浦半島の課題抽出のための聞き取り調査
2016.5.29	10:00-15:00	庵浦小学校・俵浦小学校	半島全体	庵浦小学校・俵浦小学校運動会ヒアリング	俵ヶ浦半島の課題抽出のための聞き取り調査
2016.6.19	15:00-20:00	第 19・第 20 消防団詰所	半島若手住民	若手へのヒアリング	俵ヶ浦半島の課題抽出のための聞き取り調査

俵ヶ浦半島、 10年後の未来予想図

2016年8月6日、俵浦小学校で「第1回俵ヶ浦半島ミーティング」を開催。俵ヶ浦町・野崎町・庵浦町・下船越町の町民以外にも市内、市外からも参加があり、50数名の方が集まりました。

10年後、どんな俵ヶ浦半島にしたいですか。参加者自らが半島の夢や想いを語り合うことから未来を考えました。また、これまで10回以上に渡る個別の地域ヒアリングの結果浮かび上がった、半島の未来を語る5つのテーマ「食」「観光」「仕事」「暮らし」「教育」について、各テーマ毎に地域のみんなで意見を共有する場をつくりました。すぐに実行可能なものから大きな夢物語まで、紹介しきれないほどの数々のアイデアが飛び出しました。



5つの部活における 事業アイデアの数々

2016年12月12日、俵浦小学校体育館で「第2回俵ヶ浦半島ミーティング」を開催。地元の方はもちろん、市内、市外からも参加があり、約50名の方々が集まりました。

第2回目のミーティングでは、「10年後の未来」を実現するための具体的な事業アイデアや事業を進めるための組織・人材について意見を出し合いました。

事業推進体制を見据えた5つの部活「ご当地部」「トレイル部」「住まい部」「学校部」「宣伝部」に分かれて、具体的な事業アイデアを議論。各部活における事業アイデアの一例を整理します。



ご当地部

展海峰売店リニューアルの事業アイデア

動線に合わせた立地の見直し。陳列方法・POP・照明の工夫。地元の食べ方、レシピ、生産者情報。加工品の開発・販売。半島野菜のブランド化。野崎寿司弁当の販売。運営の仕組み。つくも苑跡地への地域参加。など



トレイル部

トレイル活用・観光集客の事業アイデア

4町全体でのコースづくり。新コースの作成。イベントの定期開催。眺望ポイントの伐採・植樹・休憩所。駐車場・トイレ・サインの設置。昼食・土産付き参加費で収益化。農水産物の販売。収益を整備に回す仕組み。など



住まい部

移住促進・空家活用の事業アイデア

トイレ・浄化槽・仕事など移住者が求めるものを把握してPR。移住希望者との繋がり。農地・畑を貸農園に。空家を活用した集会場、休憩所、体験宿泊施設、図書館。お試し居住と農園体験をセットに。など。



学校部

学校活用の事業アイデア

学校活用事例の勉強会開催。アイデアの募集。様々な用途・活動が共存する「ごちゃまぜ」の形態。木工ギャラリー。古本図書館。部活の練習場所。農業・福祉の新たな学校。3校活用の連絡調整を図る体制づくり。など



宣伝部

半島PRの事業アイデア

「季節」と「食べ物」に関心を持ってもらう。景色で人を呼び込む。船の出入りの情報や伝統行事、九十九島かきなど、半島ならではの情報発信。口コミ、ホームページ、SNS、動画の活用。地域と外との交流。など



チーム俵・5つの部活の活動計画をつくる。

2017年2月7日、庵浦町公民館において「チーム俵・部活キックオフミーティング」を開催し、4町から50名以上が参加。

会議では「5つの部活の活動計画を作る」ことをゴールとし、希望する部活に分かれて①部活の目的・5年後の目標、②具体的な事業内容・スケジュール、③部活の組織・運営体制について具体的な議論を行いました。



〈チーム俵の事業計画づくり〉

2017年度より本格始動する5つの部活の活動計画をつくる。

〈その1〉

部活の目的・5年後の目標

目標はなるべく数字を用いて設定します。
Ex) 移住者、観光客、特産品、空き家解消、
廃校の活用数、など

〈その2〉

具体的な事業内容・スケジュール

・来年度以降3年間（平成29年度-31年度）
・地域として稼ぐ収入源

〈その3〉

部活の組織・運営体制

・部活の部長・副部長の人選
・地域に開かれた会議（時期、場所の固定化）



活性化に向けた チャレンジ第1弾！

天候が心配された今年の展海峰コスモスウォーク。参加者は172名と前回の半数ほどでしたが、開会式のころには雲が切れはじめ、次第に青空も見えはじめて、皆さん笑顔でゴールとなりました。今回初のお披露目となった「俵ヶ浦町歴史遺産トレイル」、丸出山観測所跡からの絶景を始めて見た方も多く評価は上々。ゴール後は、恒例となったぜんざいのふるまい、各町の手料理に加えて、今回初の試み「チャレンジカフェ&マルシェ」では、地元産の野菜や果物を使ったスムージーやスイーツ、オリジナルブレンドのスペシャルティコーヒー、そして採れたて野菜の販売を、ウォーキング参加者だけでなく、観光客の皆さんにも楽しんでいただきました。

Contents ① 俵ヶ浦町歴史遺産トレイルを活用した新コースで開催！



ウォーキングする参加者



丸出山観測所から眺める絶景



スムージーを楽しむ参加者

Contents ② チャレンジカフェ&マルシェ「俵ヶ浦半島のおいしいものの食堂」開店



地元4町による飲食販売



多くの人たちが賑わうカフェ・マルシェ



新開発したカップ野崎寿司とスムージー



コーヒーを提供する森宗さん、大谷さん

俵ヶ浦半島 カフェ・マルシェ

OPEN!

／ 地元販売 ／

おでん、焼き鳥、焼きそば、餡餅、芋天など

／ カフェ ／

とれたて野菜のスムージー、野崎寿司、栗スイーツ、オリジナルブレンドのスペシャルティコーヒー

／ マルシェ ／

野菜の販売



活性化に向けた チャレンジ第2弾！

コスモスウォークに続き、天候が心配された中で開催された今年の展海峰菜の花ウォーク。参加者は約280名と前回より少なかったものの、新規に参加した人が約半数と、新たな来訪者の方々に俵ヶ浦半島の魅力を楽しんでいただくことができました。

今回のウォーキングコースは、4町トレイルのうち「野崎町ごちそうトレイル」のコースを生かした約7.5kmのルートで、佐世保湾の絶景や地元の振る舞いを楽しみながらのウォーキングとなりました。

ゴール後は、毎年恒例のぜんざいのふるまい、各町の手料理に加えて、第2弾となる「俵ヶ浦半島カフェ&マルシェ」を開催。地元産の野菜を使ったベジパンや柑橘蜜ドリンク、九十九島名産の牡蠣のご飯、俵ヶ浦半島の春をテーマにしたオリジナルブレンドコーヒーを提供。ウォーキング参加者だけでなく、展海峰の観光客の方々にも、俵ヶ浦半島の豊かな食の魅力を発信することができました。

Contents ① 野崎町ごちそうトレイルを活用した新コースで開催！



ウォーキングする参加者



地元の振る舞いを楽しむ参加者



取材を受ける参加者の子供達

Contents ② チャレンジカフェ&マルシェ「俵ヶ浦半島のおいしいものの食堂」開店



地元4町による飲食販売



多くの人たちが賑わうカフェ・マルシェ



カフェ・マルシェを楽しむ来場者



カフェ・マルシェを楽しむ来場者

俵ヶ浦半島 カフェ・マルシェ

OPEN!

／ 地元販売 ／

野崎寿司、すり身揚げ、焼きそば、おにぎり、芋天、おでん、など

／ カフェ ／

半島育ちの野菜を使ったベジパン4種
選べる柑橘蜜ドリンク
九十九島牡蠣ご飯

／ マルシェ ／

野菜の販売



・人口減少と少子高齢化による空き家の増加、
 小中学校の統廃合による教育施設の喪失が課題
 となっています。  

・コミュニティにおける老人、子育て世代、子
 どもの交流が失われつつあります。また、コミュ
 ニティや地域行事の担い手不足しており、祭事、
 野崎寿司の作り方などの地域の伝統文化の継承
 が出来ません。   

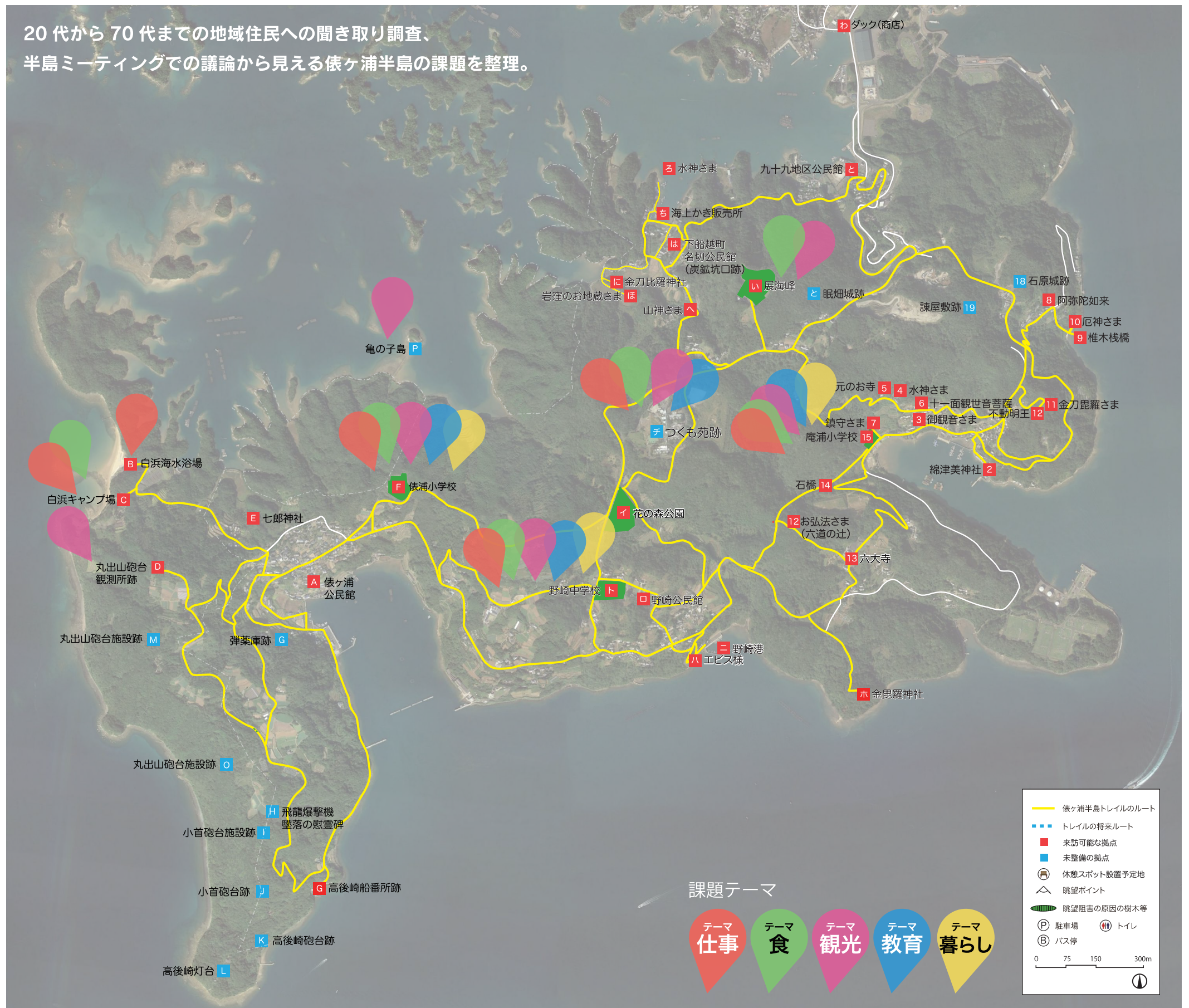
・半島内に小規模な商店が1店舗しかなく、日
 用品を市内まで買いに行く必要があり、高齢化
 による買い物弱者の増加しています。  

・バス便が不足しており、買い物、病院などの
 施設に行くために2時間かかります。 

・つくも苑が移転し、半島における主たる産業
 が農、水産業に限られることから、半島内に仕
 事なく定住の妨げになっています。  

・西海国立公園、白浜海水浴場、丸出山砲台観
 測所跡に代表され海軍遺構、トレイル、農水産
 物などの地場産品など観光資源は存在するが情
 報発信が不足し、活用できてません。  

・耕作放棄地の増加、林業の担い手不足、費用
 の不足による九十九島や佐世保湾の景観の悪化
 が懸念されます。  



拠点



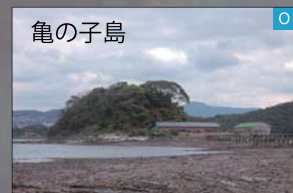
展海峰



港・プレジャーボート係留所



つくも苑跡



亀の子島



花の森公園



白浜海水浴場



白浜キャンプ場



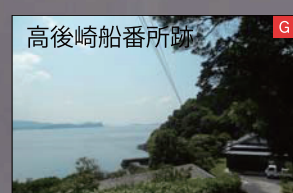
丸出山砲台観測所跡



小首砲台跡



高後崎灯台



高後崎船番所跡

アクティビティ



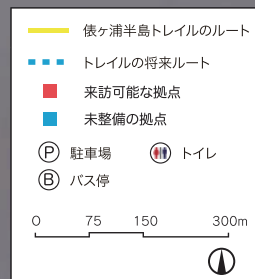
トレイル



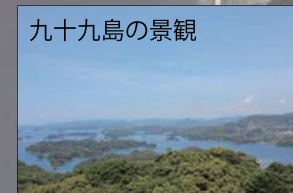
クルーズ



釣り



景観・環境



九十九島の景観



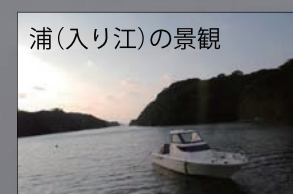
佐世保湾の景観



集落の景観



農業景観



浦(入り江)の景観



希少な動植物



太田川のホタル



六方石

食



野崎寿司



かき小屋



ふれあい工房(物産販売)



海上かき販売所

歴史



佐世保八十八ヶ所



地域の神社・祭事



六方石

半島住民の関心喚起に向けた半島 TIMES

倭ヶ浦半島の活性化を実現するためには、半島住民による地域への想い・主体的な取り組みが不可欠です。

そこで、半島住民の活性化への関心喚起・人材発掘を目的として、季刊紙「倭ヶ浦半島 TIMES」を4回発行しました。

半島ミーティングやウォーキングイベントにおける社会実験など、半島の活性化に向けた取り組みの告知、進捗状況の報告、半島の人やお気に入り・歴史秘話についての情報発信を行いました。

TIMES ① 2016.7 発行



活性化プロジェクト始動、地域行事にお邪魔しました、半島のあの人、半島のお気に入り、半島の歴史秘話、第1回半島ミーティング告知、など

TIMES ③ 2016.11 発行



木工作家 堀さん案内、展海峰コスモスウォーク開催概要、半島のお気に入り、第2回半島ミーティング告知、移住希望者・空家情報募集、など

TIMES ② 2016.9 発行



スローガン、ロゴマーク発表、倭ヶ浦半島・10年後の未来予想図、野崎寿司伝承会、展海峰コスモスウォーク告知、チャレンジカフェ募集、など

TIMES ④ 2017.1 発行



チーム倭発足、5つの部活の事業アイデア、「つくも苑跡地」の観光公園化、部活キックオフ会議・移住勉強会・展海峰菜の花ウォーク告知、など

半島ミーティングへの参加募集

今年度、俵ヶ浦半島4町が参加して半島の未来や事業アイデアを語る場として、「半島ミーティング」を開催しました。

その開催にあたり、多くの半島住民に参加していただくため、半島 TIMES とは別に告知チラシを作成しました。2回目の告知においては、振興計画やまちづくりにおける疑問点を洗い出し、住民の心理的負担を軽減することを心がけました。

＼俵ヶ浦半島の未来を語ろう／ 俵ヶ浦半島ミーティング

2016年8月6日(土)19時～21時
俵浦小学校体育館で開催決定！

参加者大募集！年齢・性別問いません。
やりたいことやみんなの夢を話しませんか？

今年の5月～6月に4町で行われた運動会や行事、会合など、地域のみんなが集まる機会に、それぞれの町内、そして半島全体で抱えている課題や関心事、将来の夢について話し合いました。暮らしに直面する生声から現実的な課題を抱える一方で、俵ヶ浦半島で暮らすことに誇りを持ち、「若い人に住んでほしい」「子供達が楽しめる地域にしたい」「風景と食を活かして地域に仕事をつくりたい」など、前向きな夢にも多く出会いました。そんな地域の想いを集めて、俵ヶ浦半島を元気にするプロジェクトは「半島の未来を語り、共有する」ことから始めます。ふたつの小学校運動会で出会った、想いを共有してみんなが1つになる光景は、地域に輝きを増す何よりの原動力だと感じたからです。「こんな俵ヶ浦半島にしたい！」「みなさんの半島への夢を語りてください。その夢が1つずつカタチになれば、半島の魅力は多くの人に伝わり、地域はきっと元気になります。たくさんのご参加お待ちしております。」



主催／俵ヶ浦半島開発協議会
企画協力／(株)ルート・アンド・パートナーズ、TMTY、九州大学景観研究室、竹林知樹スタジオ、佐世保市政経営課、佐世保市都市政策課、(公財)佐世保観光コンベンション協会

第1回半島ミーティング告知チラシ

「俵Tシャツ」できました！

1枚 2,000円(カラー・サイズ別)

平成28年12月12日までにお申し込みいただいた方には12月20日以降、展海峰ふれあい工房にて代金と引き換えにお渡しします。

FAXの方は、申込書に必要事項をご記入の上、送信してください。
Fax: 0956-68-2789 (富田)

お申し込みはコチラ

俵Tシャツ申込書

氏名 _____ 電話番号 _____

住所 〒 _____

申込数 S _____ 枚 M _____ 枚 L _____ 枚 合計 _____ 枚 _____ 円

「展海峰菜の花ウォークでチャレンジ! 食材提供者・販売参加者募集」

10月16日に開催した「展海峰コスモウォーク」では、実験的な取り組みとして、地元の産品を使ったメニューの提供や、地元の農産品の販売を行いました。3月の菜の花ウォークに向けて、さらに多くの参加者や産品、加工品の提供者を募集します。これらの取り組みを通じて、半島での収益や、半島を訪れる多くの観光客の方々へ半島の豊かさを感じていただくことにつながっていきます。関心のある方、まずはご一報ください。申込締切/12月20日(火)

原則として俵ヶ浦半島内4町に在住の方を対象とします。平成29年1月に展海峰菜の花ウォーク(平成29年3月開催予定)に向けた話し合いを行う予定です。

お問い合わせ・参加申し込み先
Tel: 080-5206-9506 (富田) 090-1191-0464 (渋谷)
Mail: hitogaomote@gmail.com

みんなで作ろう俵ヶ浦半島の未来

第2回 俵ヶ浦半島 ミーティング開催

参加者募集

俵ヶ浦半島の未来に向けた計画づくり、
いよいよこれからみんなですすめていく
具体的な取り組みについて話し合います！
俵ヶ浦半島4町(下船越 庵浦 野崎 俵ヶ浦)に
お住まいの方、住む予定の方、
半島の未来づくりに関心のある市民の方、
どなたでも参加できます。
事前の申し込みは必要ありません。
ご近所、お友達をお誘いあわせの上ご参加ください。

とき 平成28年12月12日(月) 19:00～21:00

ところ 俵ヶ浦小学校体育館

会場の俵ヶ浦小学校体育館には暖房を準備しますが、夜間は冷え込みますので、各自でカイロ、上履き等ご持参の上、暖かい服装でご参加ください。
筆記具等は当方で準備いたします。

俵ヶ浦半島ミーティングってどんな話し合い？

- 半島の暮らしをもっと心豊かに、10年後の未来もみんなが笑顔で暮らしていくために、今できることを住民みんなで話し合います。
- ミーティングは、発言の得意な人だけが話すのではなく、みんなが意見を出し合えるように、少人数のグループに分かれてそれぞれのテーマで話し合う「ワークショップ」というカタチで行います。各グループには司会役を配置して、みんなの意見を聞き出しながら話し合いを進めます。

半島の振興計画って難しそう… 地域の代表者の方にお任せではないの？

- 皆さんの意見は俵ヶ浦半島の未来づくりに欠かせない大事なものです。皆さんが日ごろから考えていることを反映した半島全体の未来に向けた計画をつくります。「計画書」にまとめていく作業は、佐世保市や九州大学景観研究室、サポートチームが、地域の代表者と一緒に行います。是非、皆さんが日頃考えていることを聞かせて下さい。

話し合ったことはいつどんな形で具体化するの？

- 平成28年度中に計画を作って、平成29年度からカタチにしています。全部を一度にはできませんが、早く着手したほうが良いことや時間をかけて取り組むこと、みんなの力でできることや行政の力を借りること、専門家の力が必要なことなどを考えて計画をつくり、無理のないペースで取り組んでいきます。

住民の負担がふえるんじゃないの？

- 住民の皆さんの力はもちろん必要ですが、楽しみながらできること、無理のない範囲でやっていくことが大事だと考えています。
- 住民だけでは難しいこともたくさんあります。活動をサポートするための専門家やスタッフなど、仲間づくりも計画に盛り込んでいきます。

「俵ヶ浦半島ミーティング」に関する疑問、質問にお答えします → 佐世保市政経営課 Tel.24-1111 (担当/中尾・澤田)

わからないこと、
お答えします。

第2回半島ミーティング告知チラシ

半島活性化の機運を 世に伝える新聞掲載

半島活性化に向けた半島住民の熱意や取り組みを広く知ってもらうため、取り組みの開催にあたっては積極的なPRに努めました。

その結果、半島 TIMES の発行や半島ミーティングにおける住民主体の地域活性化の取り組みを新聞各紙に掲載していただき、長崎県内を中心に情報発信することができました。

「俵ヶ浦半島TIMES」創刊

地域活性化支える広報紙

佐世保市俵ヶ浦半島の活性化に取り組む俵ヶ浦半島開発協議会が、広報紙「俵ヶ浦半島TIMES」(タイムズ)第1号を発行した。

地域活性化に向けた取り組みを告知しようと、半島にある4町の約500世帯に配布した。JL佐世保駅構内の佐世保観光情報センターでも手に入る。年間4回発行 4町500世帯に配布

佐世保 佐世保市俵ヶ浦半島の活性化に取り組む俵ヶ浦半島開発協議会が、広報紙「俵ヶ浦半島TIMES」(タイムズ)第1号を発行した。地域活性化に向けた取り組みを告知しようと、半島にある4町の約500世帯に配布した。JL佐世保駅構内の佐世保観光情報センターでも手に入る。年間4回発行 4町500世帯に配布

4回発行で、来月まで、あともう1号、俵ヶ浦半島TIMESの狙い。第1号は、俵ヶ浦、野崎、下船越の3町で構成する。2013年度から九州大学大学院の今年5月にある最後の運動会や移住者の紹介、半島の歴史などを掲載した。今年6日には住民約60人が参加し、半島の未来を語り合う「俵ヶ浦半島ミーティング」があり、二つの小学校の跡地や、トレイルコースの活用策などについて自由意見を出し合った。協議会の尾崎嘉弘会長は「活性化には地域の理解が不可欠。地域が盛り上げてプロジェクトを進めていきたい」と話した。(梅沢平)

2016.8.24 西日本新聞

ローカル (第3種郵便物認可)

長 崎 県 俵 ヶ 浦 半 島

2016年(平成28年)7月30日 土曜日 紙面編集・新口鮎美

広報紙「俵ヶ浦半島TIMES」創刊

開発協議会 地域活性化へ意識共有図る

佐世保市俵ヶ浦半島の4町でつくる俵ヶ浦半島開発協議会(尾崎嘉弘会長)は、同協議会で進める地域活性化プロジェクトへの住民の意識共有を図ろうと広報紙「俵ヶ浦半島TIMES」を創刊した。

十九島と佐世保港を望む俵ヶ浦半島。半島内の俵ヶ浦、野崎、庵浦、下船越の4町は2013年度から九州大景観研究室などと共に同各町ごとに自然景観や歴史・文化を生かした散策コースを整備。これらを生かし、同協議会では本年度、交流人口の拡大など活性化計画を策定する。

広報紙はタフroid判4ページ。住民自らが半島の未来像を描く最初のステップとして8月6日に開く「俵ヶ浦半島ミーティング」を前に創刊した。来月3月までに計4回発行する計画で、半島内の約500世帯に全戸配布する。

創刊号では、プロジェクトの趣旨や、来春に統廃合されるため最後となった俵ヶ浦、庵浦両小の運動会の様子などを掲載。外からの視線で半島の魅力を語ってもらうコーナーでは「下村ジュニア科学賞」を受賞した中学生が希少種が生息する半島の豊かな自然環境を紹介している。

協議会副会長で俵ヶ浦町公民館の湯浅修館長(69)は「まずは興味を持ってもらうことが大事。活動の輪が広がっていくと話した。(養川裕之)

創刊した「俵ヶ浦半島TIMES」を手にする湯浅館長(左)ら
＝佐世保市俵ヶ浦町、白浜海水浴場

2016.7.30 長崎新聞

九十九島と佐世保港を望む佐世保市俵ヶ浦半島。半島内の下船越、庵浦、野崎、俵ヶ浦の4町でつくる協議会で豊かな自然景観や歴史・文化を生かした散策コース「俵ヶ浦半島トレイル」を整備。これらを生かした地域活性化プロジェクトを本年度立ち上げた。

「昔は船で子どもたちを九十九島にキャンプに連れていった。下船越で生まれ育ち、30年近く町内会長を務める俵ヶ浦半島開発協議会会長 尾崎 嘉弘さん

プロジェクトで活性化

地域の顔。「何かあったら、はたして寄って助けてくれる人がいる」と、とくに前へ進んでいかないと。72歳、佐世保市下船越町在住。(養川裕之)

2016.7.23 長崎新聞

俵ヶ浦半島活性化へ

佐世保市の俵ヶ浦半島の活性化に向け、住民主体のまちづくり組織「チーム俵」が発足した。学校跡地の活用策を考え、実践する「学校部」など五つの「部活」を設け、3月末にまとめる半島振興計画(仮称)の実現に動き出す。

九十九島など豊かな自然景観や歴史・文化を有する一方、半島内の3小中学校が少子化で閉校になるなど課題にも直面している。俵ヶ浦、野崎、庵浦、下船越の4町でつくる俵ヶ浦半島開発協議会では本年度、市や九州大景観研究室などの協力を得て地域活性化プロジェクトを推進。計2回開いた住民参加の「ミーティング」での意見を踏まえ、振興計画を策定する。

「チーム俵」発足

立ち上げの会議で「部活」ごとに事業アイデアを話し合う参加者。佐世保市、庵浦町公民館(佐世保市提供)

「チーム俵」は事業推進に向けて協議会を母体に発足。4町内会長らのネットワーク会議と、地元への関心度や必要性が高い事業テーマなどの「部活」で構成する。7日に庵浦町公民館で立ち上げの会議を開催。約50人が参加し、部活ごとに事業アイデアを話し合った。

「学校部」の部長で俵浦小育友会副会長の森宗幸彦さん(41)は半島内の小中学生の保護者らによる育友会や、若者会議の発足準備を進めている。森さんは「学校という最も重要な場がなくなり、地域のつながりが希薄になってしまつと懸念している。地域の結束を強め、活性化を図りたい」と話した。(養川裕之)

住民主体で立案、実践

2017.2.21 長崎新聞